



アクションプラン2022

～ 挑 戦 ～

人を 地域を 未来へつなぐ、かけがえのない鉄道をめざします



はじめに

新・経営ビジョン(2013～2022)、中期経営計画(2018～2022)の考え方に沿った今年度の具体的な計画が、ここで紹介するアクションプラン 2022 です。

2022年度は、2013 年度に策定した『新・経営ビジョン』が計画期間の 10 年の区切りを迎えるとともに、開業20周年の節目を迎える年でもあります。

アクションプラン 2022 では、今を転換期と捉え、未来のあるべき姿に向けて社員一丸となって取り組んでいくため、今後 10 年間の『次期経営ビジョン(2023～2032)』の策定も計画に盛り込んでいます。

過去の取組を踏まえたうえで、引き続き「安全・安定輸送の確保」を最優先に取り組むとともに、関連事業も含め、これまでの取組の成果を検証のうえ、沿線市町等関係者の皆さまの声を聴きながら、以下の視点に立ち、各事業の展開・見直しや運営体制の強化に努めるとともに、新たな取組に“挑戦”していきます。

ア 安全・安定輸送の確保

安全・安定輸送の確保を第一とし、新型コロナウイルス感染症で変化した生活・行動様式に対応した取組や感染症対策の徹底に努めます。

イ 健全で安定的な経営

持続可能な経営のため、すべての事業において見直しを行い、収支計画及び設備投資計画をもとに資金繰り計画を策定し、経営状況を踏まえて金融機関等と協議の上、安定的な財務運営に取り組めます。

ウ 沿線地域との連携・協働の推進

地域のニーズを的確に捉え、広域的な視点で地域資源を有効に活用し、連携・協働しながら、地域の振興や経営環境改善につながる取組を推進します。

四半期ごとに進捗状況を確認し、計画を見直し軌道修正していくことによって、取組を確実なものにしていきます。(この要約版は、主なものを抜粋したものです。なお、重点項目は一部簡略化して記載しています。)

「安全・安心」を第一に、地域の旅客輸送・日本の物流の担い手として より信頼される鉄道であり続けます

◆ 社員一人ひとりが安全を最優先に業務に取り組む。

【さらなる安全・安心への取組】

重点項目	取組内容
○防災マニュアルの浸透、事業継続計画の充実、避難誘導等の防災訓練の実施など、自然災害への対応力を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異常時に対応する各種計画の見直し ・ 防災の日訓練の充実 ・ 感染症対策等事業継続計画の見直し【新規】
○脱線復旧訓練・実車運転訓練などの各種訓練を関連機関と連携して実施するほか、事故・輸送障害への対応力を強化するとともに、万一事故が発生した場合、被害者の救護をはじめ適切な支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 踏切事故防止運動の実施 ・ 警察と連携した緊急事案対応訓練の実施【新規】 ・ 鉄道安全教室の実施 ・ 実車を使用した異常時対応訓練会の実施 ・ JR貨物総合脱線復旧訓練への参加

◆ 鉄道施設の信頼性を確保する。

【線路・電路設備の品質の維持・向上】

○計画的な設備更新により修繕費を削減するとともに、設備品質の維持・向上を図り、信頼性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種工事の計画的な実施(ロングレール交換、橋マクラギ交換、電化柱の更新、橋りょうの重防食塗装 等) ・ 不要設備の撤去及び低稼働設備の運用見直しによるランニングコストの削減(不要建物の撤去 等)
○地震や集中豪雨等自然災害に対して強い設備を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川増水時における河岸の流失防止ブロックの設置(根固めブロック設置) ・ 河川増水時における橋脚の傾斜現象検知装置の設置(洗堀検知装置設置)
○技術勉強会や各種教育機関への計画的な派遣訓練を継続的に実施することで、プロパー社員の技術力を確立し、これまで培ってきた鉄道保守技術の継承を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軌道・土木・電力・信通の系統毎に定期的な技術勉強会を開催 ・ 安全技術勉強会を設備管理所全体で年2回実施

【車両・輸送品質の向上】

○車両検修に係る作業の円滑化を図るとともに、車両の延命化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連会社との合同訓練会の実施 ・ 車両延命に不可欠な部品等の計画的な交換 ・ 運転状況記録装置のオーバーホール ・ 蛍光灯のLED化
○将来の車両更新に備えて、車両製造・導入動向を調査するとともに、より効率的な車両運用のあり方や輸送需要や異常時対応をも考慮した必要車両数について、関係機関と検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内に発足させた車両更新プロジェクトを中心として、2027年度に想定される3編成(6両)及び2031年度に想定される4編成(8両)の車両更新について、引き続き関係機関との検討を進める。

踏切事故防止運動(境田川原踏切にて)



実車運転訓練会(列車抑止手配訓練)



レール輸送(一戸駅構内にて)



誰もが利用したくなるような、お客さまにやさしい、魅力的な鉄道をめざします

◆ お客さまの視点に立ったサービスを提供する。

【顧客ニーズに沿ったサービスの提供等】

重点項目	取組内容
○“お客さまの声”をはじめとしたサービス向上に資する情報の収集と分析を進めるとともに、お客さまに気持ちよくご利用いただけるサービス知識・技術の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客さまの声の収集分析及び共有化 ・ サービス向上会議による議論推進及び改善 ・ サービス知識・技能向上のセミナーへの参加

【地域特性に応じた発信力の強化】

○沿線市町や地域の皆様と連携しながら、駅を中心とした地域活性化に取り組むとともに、ニーズに沿った企画や地域に関する情報を発信し、地域に根差した会社運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>いわて沼宮内駅長配置による新体制への移行【新規】</u> ・ 沿線市町や地域の皆様との繋がる機会の創出及び全社員の広報意識の醸成による情報発信力の強化 ・ 記者懇談会の実施 ・ 沿線自治体広報担当者との意見交換 ・ 社内広報体制の見直しによる情報発信力の強化 ・ 銀河鉄道まっりの開催【20th】※1 ・ <u>ファンクラブ会員に向けた沿線物産(パートナーズ会会員関連)の情報発信及びオンラインショップの開設【新規“ちりつも”】※2</u> ・ 沿線への誘客ツアーの企画・実施【20th】 ・ 地域イベントを通じた交流促進 ・ HPやSNSによる情報発信を分析のうえ、ターゲット及び環境等を踏まえた効果的な情報発信の実施【20th】 ・ <u>沿線高校生制作の鉄道利用ポスターの掲示【新規“ちりつも”】</u>
---------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※1 【20th】:開業 20 周年記念と関連した計画があるものに記載しています。

※2 【ちりつも】:業績向上・業務改善を目的とした、社内公募企画の呼称です。

◆ お客さまにとって便利で利用しやすい鉄道をめざす。

【駅や列車の利便性向上】

○“お客さまの声”や現場の提言を反映し、限られた資源の中でより良いダイヤを構築する。	・ 利用者拡大を目標とした次期ダイヤ改正に向けての調査(主要駅利用状況調査)
○サイクルトレインについて、具体的な検討を行う。	・ 関係団体との連携の下で、サイクルトレインのツアーを実施
○駅や列車の利便性向上について、具体的な検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅設備等の IC 化に向けて引き続き検討 ・ <u>リアルタイム運行情報の提供に向けてシステム導入の検討【新規“ちりつも”】</u> ・ JR 田沢湖線前潟駅新設に伴う乗継運賃の検討

【バリアフリー環境の整備】

○バリアフリーに関する知識・技術の向上に取り組み、お客さまにとって利用しやすい鉄道をめざす。	・ 車椅子・携帯用スロープ等の対応訓練の実施
------------------------------------------------	------------------------

IGR HUG PASS

銀河ファンクラブマガジン

IGR CM ワンシーン

ラッピング列車(二戸市:漆・一戸町:縄文)



地域のかげがえのない足として、将来にわたり健全で安定的な経営に努めます

◆ 地域鉄道を担う“民間”会社としての社会的な責務を果たす。

【黒字経営の継続】

重点項目	取組内容
○徹底した経費節減に努め、費用と収入の均衡を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期収支計画の随時更新 ・ 次年度事業計画策定フローの見直しの実施 ・ 予算管理の精度の向上及び評価の実施 ・ 業績向上・業務改善を目的とした社内公募企画の強化
○鉄道旅客事業及び関連事業について、増収増益に繋がる取組を強化する。	<p>【鉄道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生の利用を促進させる企画の実施 ・ ラッピング列車ツアー及びイベントの実施【20th】 ・ 開業20周年を記念し、各種イベントや商品の販売、他社と連携した共同企画商品を販売【新規】【20th】 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行業において代理販売を主とした営業からの形態転換について推進【新規】 ・ 旅行業において沿線への誘客を目的とした着地型旅行（企画旅行）の営業強化【新規】 ・ 飲食業（びすとろ銀河：青山駅南口）において、より親しみやすい店舗にするため、カフェレストラン化しメニューのリニューアルを実施【新規】 ・ 飲食業（銀河ダイニング「へのへの」：二戸駅に併設された「なにやーと」内）において、沿線自治体・企業と連携した取組の強化【新規】 ・ IGR 不動産において賃貸物件の画像提供を強化し掲載商品の充実を図るほか、新規物件の開拓【新規】 ・ IGR クリーンサービスにおいて不動産と連携し、年度末の引越し等による廃棄物回収の受注を強化【新規】 また、空き家問題等、地域課題の解決に資する事業を実施【新規“ちりつも”】 ・ オンラインショップの充実を図り、物販強化【20th】
○貨物調整金制度の維持継続等について要請等を行い、十分な理解を得るよう活動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 並行在来線鉄道事業者協議会による活動

【“まちづくりの装置”としての鉄道】

○駅舎の改築や新駅の設置など、住民の利便性向上と地域の発展に大きく資する事業について、引続き沿線市町・県とともに検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各駅の利用状況及び周辺地域の状況を踏まえ、新駅設置又は駅舎改築の必要性について検討 ・ 関係市町等との担当者会議の実施
○未利用地や未利用スペースの有効活用により収益の増加を図るとともに、地域のまちづくりに貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅未利用スペースの新たな活用について検討 ・ <u>びすとろ銀河に隣接するレンタルスペースの活用の幅を拡充し、地域交流人口の増加に寄与する【新規】</u>
○道路と公共交通双方の利便性向上のため、地域の交通計画を踏まえ、マイカーから公共交通機関へのシフトを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県及び沿線市町の公共交通計画への参画 ・ <u>北いわて産業・社会革新推進コンソーシアムへ参画し、北いわて MaaS の活用に係る個別プロジェクト等に取り組む【新規】</u>

◆ 徹底した効率経営を追求するとともに関連事業を展開し、健全な経営を維持する。

【長期的に安定したキャッシュフローの確立】

重点項目	取組内容
○設備投資に要する資金の調達が必要となることから、長期的な視点でキャッシュフローの健全化を進めるため関係機関と検討を進める。	・ 資金繰り及びキャッシュフローシステムによる財務運営の見える化

【人材の育成と適正な人員管理】

○採用活動を積極的に行い、優秀な人材を確保するとともに、外部研修機関の活用や他社への派遣研修等、社員研修の充実を図り、社員一人ひとりの知識技能向上に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採用イベントへの積極的な参加 ・ Uターン、Iターン人材を含めた経験者採用の強化に向けた関係機関へのPR強化 ・ 社員の知識技能向上を目的とした各研修の実施 ・ <u>短期派遣研修の実施【新規】</u>
○今後、必要とされる人材の育成に向けて、育成の方向性等を明確にするとともに、働き方の見直しや業務改善等による時間外労働の削減と社員のモチベーションの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新人事制度の運用と人材育成方針・計画の作成 ・ 働きやすい環境に向けたIT環境の整備 ・ <u>テレワークの導入に向けた検討【新規】</u> ・ <u>リフレッシュ休暇創設【新規】</u>

【業務改善の推進】

○チェック体制の強化や、業務の改善・効率化に不断に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸規程における見直しの実施 ・ 安全総点検の点検項目の適正な設定 ・ <u>小口現金のキャッシュレス化による業務の効率化【新規“ちりつも”】</u> ・ <u>タブレットの有効活用による業務の効率化【新規“ちりつも”】</u> ・ <u>遠隔監視カメラ活用による不正乗車の抑制【新規“ちりつも”】</u>
--------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【その他】

○今後の経営環境の変化に対応できる経営方針の見直し	・ <u>持続的経営に資する次期経営ビジョン(2023～2032)の策定【新規】</u>
○開業20周年記念行事の実施【新規】	・ <u>開業20周年を迎えるにあたり、記念事業を実施企画を通じてお客さまをはじめ、関係される皆様へ感謝の気持ちを伝える【新規】</u>

新入社員研修(ハンディキャップ体験) 社内公募企画発表会 通称“ちりつも” 次期経営ビジョン策定会議

